

議会報告会意見と回答

テーマ1 瑞浪市の新型コロナ対策

お寄せいただいたご意見		議会の考えと対応方針
みずなみ応援券について	・みずなみ応援券は評価します。	第1弾の「みずなみ応援券」の制度設計は苦境にある飲食店等になるべく早く現金を届けるという狙いのもと行われましたが、その使いにくさについてこれまでも多くのご意見を頂いておりました。第2弾となる「瑞浪市プレミアム商品券」については議会からも一般質問で第1弾の反省を踏まえたものになるよう意見を伝え、改善が図られました。
	・みずなみ応援券第1弾は不評！2弾は年末ということもあって消費喚起にはなると思う。	
	・第一弾の商品券は1店舗に使用を限るなど市全体のことを考えていない。	
情報発信について	・市長が防災ラジオを使っっての呼び掛けも評価します。	市では全戸に貸与している防災ラジオや市報、ホームページ、新聞折り込み等を使って、市の対策や県（保健所）の対応を確認しながら配信しています。 広報の強化だけでなく、情報アプリ（ココア）等を活用を啓発を強化するように促していきます。
	・現在実施されている家庭用ラジオなどで感染防止の啓蒙活動を行い恐さを知らせる！	
	・もっと対策をしていることをアピールしてもよいのではないのか？特に学校でクラスター化しないよう対策すべきである。	
	・感染拡大が急速に増加している中で、市政としてどう対処しているのか市民に具体的な情報が無い。	
	・防災無線で、マスク着用、手洗い、うがい、無駄な外出のよびかけで個人の力は限界で、市民の不安には応え切れない。	
公的検査の拡充について	・発熱があっってかかりつけ医等に相談し、検査の病院を指定された場合、運転免許証がない人はどのように移動したらいいのか公表して欲しい。	PCR検査は国により公的保険が適用され負担軽減が図られています。また、新型コロナウイルスワクチン接種に関しては、国では全国民を無料とする方針を決定し、令和3年前半までの実施を目指し現在、県や市でも準備を進めています。
	・全員PCR検査無償義務化	
	・病院、福祉施設等の定期的な社会的検査を拡大するよう市町村会、知事会を通じ政府に公的資金を要望することです。コロナが発生したら点一線言うまでもなく「面の検査」が必要。	
イベントの開催について	・なんでもかんでも、イベントを中止にするのはどうか？と思う。	感染経路や感染力の把握ができてきたことから、国や県のガイドラインが日々改正されています。市が新たな指針にしたがい、新型コロナ対策を徹底したうえでイベントや事業を行えるよう、また行っているか注視していきます。
	・感染が収束しない限りイベント（七夕まつり、バサラカーニバル）は開催すべきではない。	